

令和7年度

地域共生社会の実現に向けて ～重層的支援体制整備を中心に～

人と人、人と社会がつながり、誰もが生きがいや役割を持って、助け合いながら暮らせる包摂的な共生社会づくりが求められています。

この地域共生社会の実現に向けて、「重層的支援体制整備事業」を中心に、相談支援、参加支援、地域づくりへの支援、これら3つの支援を一体的に実施していくための事業デザインの考え方を講義や演習を通じて学びます。

開催要領

日 程

令和7年6月17日(火)～6月20日(金) (4日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

重層的支援体制整備事業を実施(または検討)している市町村等の担当職員

4日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。

募集人数

50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

14,700円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食3回、昼食3回、夕食3回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年5月12日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和7年

6月
17日(火)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:10

講義 地域共生社会—包括的な支援体制の整備—重層的支援体制整備事業

厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域共生社会推進室 支援調整係長 **石松 香絵 氏**
重層事業を実施/実施を検討している市町村の多くは、その実施自体が目的化し、事業を何のために実施するのかが説明できていません。そこで、本来市町村が行うべきことを説明いただいた上で、今後市町村自らが目的に照らし手段を選択できるようにするためのヒントをいただきます。

14:25~17:00

演習 超高齢社会体験ゲーム「コミュニティコーピング」(体験・ふりかえり)

一般社団法人コレカラ・サポート 代表理事 **千葉 晃一 氏**
ほか理事の皆様

人と地域資源をつなげることで「社会的孤立」を解消する協力型ゲームを体験します。ゲームの体験とふりかえりにより、どのような地域をつかっていきたいかを考えます。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~12:00

講義 体制整備のためのネットワークづくり
~庁内連携・多機関協働に向けて~

関西学院大学人間福祉学部 教授 **藤井 博志 氏**

地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築していくためには、既存制度の所管課や関係機関との連携・協働が必要となります。そのための包括的支援体制・重層的支援体制整備事業の基本的理解と基本設計、地域福祉計画との関連と進行管理など、「体制整備」に向けた考え方を話させていただきます。

13:00~14:00

事例紹介① だれもが住みよい暮らしをつくるために~大田市の取組~

島根県大田市健康福祉部地域福祉課 福祉介護推進支援員 **三谷 耕司 氏**
コーディネーター: 関西学院大学人間福祉学部 教授 **藤井 博志 氏**

大田市では、「だれもが住みよい暮らしをつくる-共に生き、共につながる大田市をめざして-」を基本理念に、重層的支援体制整備事業を進めておられます。主に組織づくりの観点から、庁内関係部署や関係機関との連携や協働等、現在実施している取組や課題等についてご紹介いただきます。

14:15~15:15

事例紹介② 誰もが安心して暮らせる地域共生社会のために
~東広島市の取組~

広島県東広島市健康福祉部地域共生推進課

コーディネーター: 関西学院大学人間福祉学部 教授 **藤井 博志 氏**

東広島市では、「誰ひとり取り残さず、みんなが安心できる地域社会にすること」を目指し、重層的支援体制整備事業を進めておられます。東広島市における地域の活動や資源と協働した取組等について、主に地域づくりの観点から、現在の状況や今後の展望についてご紹介いただきます。

15:30~17:00

質疑・意見交換

コーディネーター: 関西学院大学人間福祉学部 教授 **藤井 博志 氏**

大田市・東広島市の取組に対して班に分かれて意見交換を行い、質疑応答や情報共有をします。講義や事例紹介の内容を踏まえ、各地域の取組みや地域課題を共有します。
※事例紹介講師2名にもご参加いただき、アドバイス等をいただきます。

9:25~12:00

講義 重層的「地域づくり」~地域資源を活かす交流・場づくり~

NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 **池田 昌弘 氏**

広く地域住民を対象とする地域活動に向けての環境整備のために、地域資源の考え方から、多様な場や居場所づくりの他、様々な活動が地域で生まれやすくなるような働きかけや更なる展開を生む仕掛けづくりなど、各地の取組み事例も交えながら学びます。

13:00~17:00

演習 重層的「地域づくり」~地域資源を活かす交流・場づくり~

NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 **池田 昌弘 氏**

グループに分かれ、それぞれの自治体が持っている地域資源を用いて、多様な地域活動が生まれやすい環境づくりを考えます。

9:00~12:00

講義 地域共生社会の実現に向けて

日本福祉大学 学長 **原田 正樹 氏**

研修のまとめとして、地域共生社会の実現が求められている背景や、目指すべき社会や相互に支え合う地域のあり様などについてご講義いただき、最後に振り返りを行います。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和7年

6月
18日(水)

令和7年

6月
19日(木)

令和7年

6月
20日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。